



2026年2月期 第1四半期決算短信〔I F R S〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 株式会社コメダホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 3543 URL <https://www.komeda-holdings.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）甘利 祐一
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役CFO （氏名）清水 宏樹 TEL 052-936-8880
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	13,676	23.8	2,291	8.5	2,290	8.6	1,559	8.5	1,535	6.8	1,586	9.5
2025年2月期第1四半期	11,050	5.7	2,111	△6.4	2,109	△6.1	1,437	△6.1	1,437	△6.0	1,448	△5.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	33.75	—
2025年2月期第1四半期	31.43	31.41

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	107,943	46,124	45,966	42.6
2025年2月期	105,739	45,618	45,618	43.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	54,880	16.6	10,000	13.4	9,970	15.8	6,850	17.8	6,770	148.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) POON RESOURCES PTE. LTD.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	46,271,400株	2025年2月期	46,267,500株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	776,257株	2025年2月期	775,905株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	45,493,156株	2025年2月期1Q	45,730,482株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2025年7月11日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(売上収益)	10
(1株当たり利益)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外食産業においては、賃上げや雇用情勢の改善が見られるなど個人消費の緩やかな回復が見られたほか、インバウンド需要が引き続き好調なことにより、外食需要は堅調に推移しております。一方で、米国の関税引き上げや為替・金利の変動、不安定な国際情勢による原材料価格やエネルギーコスト高騰の継続、人財採用難による働き手不足や人件費の上昇、お客様のライフスタイルや価値観の変化など、極めて先行きの不透明な事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「VALUES 2025」に掲げる『“くつろぎ”で、人と地域と社会をつなぐ』をスローガンに、既存モデルの拡充、新しい共創価値の追求、財務価値の維持拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上収益は13,676百万円（前年同期比23.8%増）となりました。営業利益は2,291百万円（前年同期比8.5%増）、税引前四半期利益は2,290百万円（前年同期比8.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,535百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

また、当社グループは、主に国内にコメダ珈琲店を8店舗出店、海外においては2025年3月1日付でPOON RESOURCES PTE. LTD.（以下、「POON」という）を連結子会社化したことにより「Kaffe & Toast」「Saap Saap Thai」「Ma Mum」の3ブランド計30店舗を取得し、当第1四半期連結会計期間末の店舗は1,125店舗となりました。

【当社グループの国内ブランド別/海外地域別店舗数】

セグメント	ブランド/地域	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	当第1四半期 連結会計期間末
国内事業	コメダ珈琲店	1,008 (22)	8 (－)	2 (－)	1,014 (22)
	おかげ庵	16 (8)	－ (－)	－ (－)	16 (8)
	その他	11 (11)	7 (7)	1 (1)	17 (17)
	小計	1,035 (41)	15 (7)	3 (1)	1,047 (47)
海外事業	上海	4 (－)	1 (－)	1 (－)	4 (－)
	台湾	35 (17)	－ (－)	－ (－)	35 (17)
	香港	7 (－)	－ (－)	－ (－)	7 (－)
	インドネシア	2 (2)	－ (－)	－ (－)	2 (2)
	シンガポール	－ (－)	30 (30)	－ (－)	30 (30)
	小計	48 (19)	31 (30)	1 (－)	78 (49)
合計		1,083 (60)	46 (37)	4 (1)	1,125 (96)

- (注) 1. () 内の数字は直営店舗数であり、内数で記載しております。
2. 国内事業におけるその他ブランドは、BAKERY ADEMOK、KOMEDA is □、大館吉日、La Vinothèque、ジェリコ堂、ベイス、米屋の太郎、BLUE LEAF CAFÉを含んでおります。
3. その他の出店の内訳はジェリコ堂2店舗、大館吉日1店舗、2025年5月1日付で当社連結子会社が事業を取得した「BLUE LEAF CAFÉ」4店舗となります。

なお、当社グループは従来、喫茶店のF C事業の単一セグメントとしておりましたが、POONの連結子会社化により海外事業の重要性が増したことに伴い、当社グループ内の業績管理区分の見直しを行ったことから、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「国内事業」及び「海外事業」に分類しており、当該セグメントにおける経営成績は次のとおりです。

(国内事業)

国内における店舗においては、コメダ公式アプリの機能拡充を行うことで、お客様の店舗体験価値向上及び店舗オペレーションの負荷軽減を図るとともに、昨年季節限定商品として好評だった「鶏タツタバーガー」をリニューアルして発売したほか、有楽製菓株式会社様及びネスレ日本株式会社様の人気チョコレート菓子とコラボレーションした「チョコノワール ブラックサンダー」「チョコノワール〜Made with KITKAT®」の2種をチョコノワールグランプリとして発売し、多くのお客様にご来店いただきました。

これらの取り組みにより、当第1四半期連結会計期間におけるF C加盟店向け卸売の既存店売上高前年比は110.5%、全店売上高前年比は116.0%となりました。

以上の結果、国内事業の当第1四半期連結会計期間の売上収益は12,333百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は2,734百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(海外事業)

海外事業において、2025年3月1日付でシンガポール共和国におけるカフェ及びタイ料理レストラン30店舗を運営するPOONの発行済株式の70%を取得し、POONを当社グループの連結子会社としました。

台湾においては、過去にご好評いただいた「チキン南蛮カツパン」を再発売したほか、選べるモーニングとして抹茶あずきを発売するなど期間限定メニューを導入することで多くのお客様にご来店いただきました。

以上の結果、POONを連結子会社化した影響もあり、海外事業の当第1四半期連結会計期間の売上収益は1,346百万円（前年同期比344.2%増）、セグメント利益は136百万円（前年同期比209.1%増）となりました。

なお、当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を「品質とお客様」、「人と働きがい」、「環境」の3つのテーマに分類し、この分類ごとに当社グループが経済価値の向上と社会課題の解決に貢献すべく、取り組みを実施しております。詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。

- ・ <https://komeda-holdings.co.jp/materiality/>
- ・ <https://komedacomestruue.komeda.co.jp/action/>

(2) 当四半期の財政状態の概況

①財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は、その他の流動資産の減少等により前連結会計年度末に比べ585百万円減少し、19,981百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ2,789百万円増加し、87,962百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ2,204百万円増加し、107,943百万円となりました。

また、流動負債は、借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,716百万円増加し、16,180百万円となりました。非流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、45,639百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ1,698百万円増加し、61,819百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ506百万円増加し、46,124百万円となりました。これは主に、四半期利益を百1,559万円計上した一方で、剰余金の配当1,228百万円を実施したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、10,300百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は1,347百万円（前年同期比279百万円増）となりました。これは主に税引前四半期利益2,290百万円（前年同期比181百万円増）を計上したこと、その他の金融負債の増加額749百万円（前年同期比280百万円増）、法人所得税等の支払額1,505百万円（前年同期比40百万円増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は436百万円（前年同期は848百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出322百万円（前年同期比64百万円増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は1,259百万円（前年同期比2,140百万円減）となりました。これは主に借入れによる収入1,500百万円（前年同期は0百万円）、借入金の返済による支出506百万円（前年同期比3百万円減）、リース負債の返済による支出1,051百万円（前年同期比86百万円増）及び親会社の所有者への配当金の支払額1,205百万円（前年同期比7百万円減）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想について、2025年4月9日に公表した通期連結業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	10,390	10,300
営業債権及びその他の債権	7,208	8,119
その他の金融資産	141	407
棚卸資産	433	526
その他の流動資産	2,394	629
流動資産合計	20,566	19,981
非流動資産		
有形固定資産	13,838	15,491
のれん	38,354	39,916
その他の無形資産	542	609
営業債権及びその他の債権	28,213	27,726
その他の金融資産	3,498	3,537
繰延税金資産	199	162
その他の非流動資産	529	521
非流動資産合計	85,173	87,962
資産合計	105,739	107,943
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	2,789	2,876
借入金	2,024	3,524
リース負債	4,050	4,619
未払法人所得税	1,594	836
その他の金融負債	2,776	3,053
その他の流動負債	1,231	1,272
流動負債合計	14,464	16,180
非流動負債		
借入金	7,087	6,581
リース負債	30,822	31,269
その他の金融負債	6,790	6,754
引当金	396	482
その他の非流動負債	562	553
非流動負債合計	45,657	45,639
負債合計	60,121	61,819
資本		
資本金	672	673
資本剰余金	13,062	13,076
利益剰余金	33,825	34,132
自己株式	△2,028	△2,029
その他の資本の構成要素	87	114
親会社の所有者に帰属する持分合計	45,618	45,966
非支配持分	△0	158
資本合計	45,618	46,124
負債及び資本合計	105,739	107,943

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上収益	11,050	13,676
売上原価	△7,308	△9,620
売上総利益	3,742	4,056
その他の営業収益	26	103
販売費及び一般管理費	△1,657	△1,861
その他の営業費用	△0	△7
営業利益	2,111	2,291
金融収益	18	24
金融費用	△20	△25
税引前四半期利益	2,109	2,290
法人所得税費用	△672	△731
四半期利益	1,437	1,559
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,437	1,535
非支配持分	—	24
四半期利益	1,437	1,559
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.43	33.75
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.41	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期利益	1,437	1,559
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11	27
税引後その他の包括利益	11	27
四半期包括利益	1,448	1,586
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,448	1,562
非支配持分	—	24
四半期包括利益	1,448	1,586

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2024年3月1日残高	659	13,042	30,476	△1,071	4	43,110	43,110
四半期利益			1,437			1,437	1,437
その他の包括利益					11	11	11
四半期包括利益合計	—	—	1,437	—	11	1,448	1,448
新株予約権の行使	1	1				2	2
株式報酬取引		14				14	14
配当金			△1,237			△1,237	△1,237
自己株式の取得		3		△718		△715	△715
所有者との取引額合計	1	18	△1,237	△718	—	△1,936	△1,936
2024年5月31日残高	660	13,060	30,676	△1,789	15	42,622	42,622

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年3月1日残高	672	13,062	33,825	△2,028	87	45,618	△0	45,618
四半期利益			1,535			1,535	24	1,559
その他の包括利益					27	27	0	27
四半期包括利益合計	—	—	1,535	—	27	1,562	24	1,586
新株予約権の行使	1	1				2		2
株式報酬取引		12				12		12
配当金			△1,228			△1,228		△1,228
自己株式の取得		1		△1		△0		△0
連結範囲の変動						—	134	134
所有者との取引額合計	1	14	△1,228	△1	—	△1,214	134	△1,080
2025年5月31日残高	673	13,076	34,132	△2,029	114	45,966	158	46,124

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,109	2,290
減価償却費及び償却費	347	579
金融収益	△18	△24
金融費用	20	25
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	42	△398
差入保証金及び建設協力金の増減額 (△は増加)	△18	△26
営業債務の増減額 (△は減少)	51	△90
預り保証金及び建設協力金の増減額 (△は減少)	36	△49
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	469	749
その他	△493	△188
小計	2,545	2,868
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△12	△16
法人所得税等の支払額	△1,465	△1,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,068	1,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減 (△は増加)	1,200	—
有形固定資産の取得による支出	△258	△322
無形資産の取得による支出	△100	△114
その他	6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	848	△436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	1,500
借入金の返済による支出	△509	△506
リース負債の返済による支出	△965	△1,051
株式の発行による収入	2	3
自己株式の取得による支出	△715	△0
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,212	△1,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,399	△1,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,470	△377
現金及び現金同等物の期首残高	7,923	10,390
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	287
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,453	10,300

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

事業セグメントは、他の事業セグメントとの取引を含む、収益を獲得し、費用を発生させる事業活動の構成単位であります。セグメント情報には、各セグメントに直接的に帰属する項目のほか、合理的な基準により各セグメントに配分された項目が含まれております。

当社グループは、国内において、主にコメダ珈琲店及びおかげ庵のブランドでフルサービス型の喫茶店のF C事業及び直営店、その他のブランドで飲食店等を運営しております。また、海外の関係会社は、それぞれ独立した経営単位であり、現地の文化と慣習を尊重し、各地域においてコメダ珈琲店のF C事業、直営店及び各ブランドの飲食店を展開する事業活動を行っております。

したがって、当社グループの事業セグメントは、各地域に根差した商品及びサービスを店舗において提供するフルサービス型の喫茶店のF C事業及び各ブランドの飲食店等により構成されており、業績管理区分に従い、「国内事業」及び「海外事業」の2区分を報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より、POON RESOURCES PTE. LTD.の連結子会社化により海外事業の重要性が増したことに伴い、当社グループ内の業績管理区分の見直しを行ったことから、従来単一セグメントとしていた報告セグメントを「国内事業」「海外事業」の2区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と概ね同一であり、報告セグメントの利益は、営業利益であります。

セグメント間の売上収益は、市場実勢価格を勘案して決定された金額に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	10,747	303	11,050	—	11,050
セグメント間の売上収益	2	—	2	△2	—
合計	10,749	303	11,052	△2	11,050
セグメント利益	2,595	44	2,639	△528	2,111
金融収益	—	—	—	—	18
金融費用	—	—	—	—	△20
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,109

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び全社機能に係る損益が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上収益	12,330	1,346	13,676	—	13,676
セグメント間の売上収益	3	—	3	△3	—
合計	12,333	1,346	13,679	△3	13,676
セグメント利益	2,734	136	2,870	△579	2,291
金融収益	—	—	—	—	24
金融費用	—	—	—	—	△25
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,290

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去及び全社機能に係る損益が含まれております。

(売上収益)

前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
卸売	7,995	197	8,192
直営店売上	1,154	83	1,237
店舗開発収入	238	—	238
その他	950	21	971
顧客との契約から認識した収益 計	10,337	301	10,638
リースに係る収益	410	2	412
その他の源泉から認識した収益 計	410	2	412
合計	10,747	303	11,050

当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
卸売	9,281	189	9,470
直営店売上	1,437	1,127	2,564
店舗開発収入	254	—	254
その他	933	29	961
顧客との契約から認識した収益 計	11,905	1,344	13,249
リースに係る収益	425	2	427
その他の源泉から認識した収益 計	425	2	427
合計	12,330	1,346	13,676

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益 (百万円)	1,437	1,535
発行済普通株式の期中加重平均普通株式数 (株)	45,730,482	45,493,156
希薄化効果のある株式数 ストック・オプション	26,284	—
希薄化効果調整後の期中加重平均普通株式数 (株)	45,756,766	—
基本的1株当たり四半期利益 (円)	31.43	33.75
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	31.41	—